

第 8 次鳥取市総合計画「実施計画」

事業名	地震対策下水道事業
-----	-----------

会計区分	下水道事業費特別会計	実施主体	市
根拠法令等	下水道法、下水道法施行令、第8次鳥取市総合計画		
ソフト・ハードの区分	ハード	ソフト	
実施(補助)期間	自 H16 ~ 至 H25		

担当部	環境下水道部	担当課	下水道計画課
担当係	計画係	内線	3113 課 45030
関係課	下水道管理課、下水道建設課		

総合計画		基本計画の政策目標 (平成16年度 22年度)					
基本計画	章	名 第2章 自然と社会が調和した環境づくりと安心でいきいきとした暮らしづくり					
	節	名 第1節 自然と社会が調和した環境づくり					
	細節	名 第8 下水道等の整備					
	施策	名 公共下水道整備事業の推進		該当ページ	99ページ		
夢があり誇りのもてる20万都市づくりビジョン							
事業区分		新規		継続		施策	21-08-01

【事務事業・第8次総合計画進捗管理】

事業の目的	事業内容	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	備考	注意事項
		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容		
下水道は、快適で衛生的な生活環境の確保と河川・湖沼等の公共用水域の水質保全などきわめて重要な役割を果たす都市基盤であり、市街地において、公共下水道による適切な排水処理を行う。	・管渠(地震対策) ・警報設備	・管渠(地震対策) ・管渠(不明水対策) ・マンホールトイレ ・警報設備	・管渠(地震対策) ・管渠(不明水対策) ・備蓄倉庫 1箇所 ・警報設備	・管渠(地震対策) ・管渠(不明水対策) ・警報設備	・管渠(地震対策) ・管渠(不明水対策) ・警報設備		<p>(注1) 事業内容は、緊急性、地域の実情、効果、熟度、有利財源の確保の観点により、毎年ローリング(見直し)する中で変更していくことがあります。</p> <p>(注2) 事業費(財源内訳)は、社会経済情勢の推移や行財政改革の推進、中長期的な財政事情などにより、毎年ローリングする中で見直しを行い、当該年度の予算編成で精査することとなります。</p>
事業の概要	重要路線下にある幹線管渠の改築及び耐震化を行う。						
事業の対象者(交付先)	すべての市民						
事業費(百万円)	H19決算額	H20予算額	H21予算要求 予定額	H22予算要求 予定額	H20~H22合計		
財源内訳 (ソフト)	一般財源	79	296	204	206	706	
	国庫支出金	1	9			9	
	県支出金	39	118	78	83	279	
	起債(下水道債・合併特別債) その他(負担金等)	36 3	164 5	126	123	413 5	
活動の指標(アウトプット)	老朽管路 3.5km 耐震化管路 1.38km マンホールトイレ 38箇所 警報設備(MP) 118箇所 備蓄倉庫 1箇所	警報設備 50箇所	耐震化管路 0.5km マンホールトイレ 38箇所 警報設備 11箇所	耐震化管路 0.58km 備蓄倉庫 1箇所 警報設備 5箇所	耐震化管路 0.3km 警報設備 5箇所		
効果(アウトカム)	耐震化管路 15.1%(全体管路42.5km) 警報設備整備率 77.6%(全体165箇所)	警報設備整備率 59.4%	耐震化管路整備率 8.7% 警報設備整備率 71.5%	耐震化管路整備率 10.1% 警報設備整備率 74.5%	耐震化管路整備率 10.8% 警報設備整備率 77.6%		
特記事項							